

宣 言

老人クラブは、戦後の荒廃した国土と激動の世相のなかから立ち上がり、「老後の幸せは 自らの手で 創り出そう」を目標に、全国各地で結成されました。

これを契機に昭和38年、北海道老人クラブ連合会は結成され、ここに創立50周年の記念すべき年を迎えました。

道民のあたたかな励ましと北海道及び地方自治体の理解と支援のもと、高齢者保健福祉の推進に寄与するとともに、地域における高齢者の生きがい健康づくりの拠りどころとして発展してまいりました。

今日、人口の減少・少子高齢化が進む中、私たち老人クラブは「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動を基調とし、地域社会の推進力として、若い世代と手を携え「新たな絆社会」を目指し、志を新たにして会員相互の信頼と協力のもと、その活力を結集して社会の期待に応えるよう努めなければなりません。

ここに半世紀に亘る活動に思いを馳せ「支え合い ひとりの心 みんなの力」を合言葉に、新たな歴史の一步を踏み出すにあたり、次の事項の実践を誓い宣言します。

- 一. 健康長寿を目指す「健康づくり・介護予防活動」の推進
- 一. 地域支えあい友愛活動、犯罪のない安全で安心な地域づくりの推進
- 一. 多発する交通事故・死亡事故の防止活動の推進
- 一. 高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立
- 一. 若手高齢者の力を活かした組織づくりの推進

平成25年9月26日

道老連創立50周年記念全道老人クラブ大会